

小さくて大きい医学分館

医学部 臨床教育センター 研修医

カワイ マサタカ
川井 将敬

私は山梨大学附属図書館の医学分館を主に利用しています。昔から医学分館には医学書は多いけど一般的な本が少ないなと感じていました。確かに医学部単科のキャンパスに医学関連の図書しかないことは当然かもしれません。

しかし、三国志演義を読む、イーリアスを読む、スッタニパータを読むといったことは何事にも替えがたい経験と思います。現在、私はそういった医学分館にはない本も「本館まで拡張された」医学分館から借りることで読書欲求を満たしています。

甲府キャンパスの本館にある本を送ってもらい医学分館で借りる制度があります。5冊借りることができ、貸し出し期間は3週間です。学生ときは医学分館で借りると3冊1週間という制約がもどかしく感じたものです。

Amazon.comでほしい本を調べてOPACで蔵書にあるか確認します。そのまま利用者サービス>文献複写・貸借申込みから進んで申し込むことができます。大抵2,3日後には到着の連絡があり医学分館のカウンターで受け取れます。

本館、医学分館の司書さんなど準備していただく方々の労力には頭がさがる思いですが、快適に利用させていただいています。みなさんも読みたい本があったらまずOPACを調べてみてください。恐らく思っている以上に「在庫」がありますよ。

ひとつ大変お世話になっている附属図書館に欲を言えば、卒業した身ですが本館か医学分館の図書リクエストができればやと思うこの頃です。

図書館の利用を通じて学んだこと

大学院教育学研究科 修士課程
教科教育専攻 芸術文化コース1年
アカホリ チホ
赤堀 智穂

私は、美術分野の絵画領域を専攻しています。絵を描くには、描く技術もちろん大切なことですが、一番大切なことはイメージをつくり出すために様々な物事に触れることです。学問は、すべての分野が相互に関係し合って成り立っています。ゆえに、様々な分野に触れて自分の専門を深めていくことは必要なことだと思っています。私にとって山梨大学附属図書館は、様々な分野に触れる機会を与えてくれる、無くてはならない存在です。

山梨大学附属図書館は、環境の整備が充実していると思います。そのおかげで、時間を有意義に過ごすことができます。こうして心地よく利用することができるのは、図書館職員の方々を利用者の立場にたって考えてくださっているからだと思います。本棚の整理整頓がされているからこそ、指定された場所に行けば捜している本を手にとることができます。また、机の上も掃除されていることで、気持ちよく課題をしたり、調べものをしたりすることができるのです。私は、当たり前のことが当たり前ではないことを図書館の利用を通して改めて実感しました。私たち利用者も次に使う人のことを考えながら図書館を利用できれば、これまで以上に快適に過ごすことができると思います。

私たち利用者の学びを支えてくださっている図書館の職員の方々に、この場を借りて心から御礼申し上げます。

